

分類 番号	A4	取組 名称	刑事施設を出所した女性の円滑な地域生活導入に向けた更生保護施設の役割 の検討
研究代表者所属・職名： 公共政策学部・准教授		氏名： 山野 尚美	
<p>研究担当者：山野尚美（京都府立大学 公共政策学部・准教授）</p> <p>外部分担者：石田陽子（更生保護法人 西本願寺白光荘・施設長）</p>			
<p>主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）</p> <p>京都市（調査対象施設の所在地）</p> <p>更生保護法人 西本願寺白光荘</p>			
<p>【研究活動の要約】</p> <p>本研究は、刑務所等を出所して、地域で新たに安定した生活を開始しそれを維持していこうとする女性に対する、更生保護施設における支援のあり方について、女性固有のニーズに注目しながら検討することを目指してスタートしました。まず更生保護施設を退所した方の個別インタビューを行いました。そこから、単身で就労している方が、他愛ない会話や人と一緒に食卓を囲む機会を望んでおられることがわかり、更生保護施設でできることについて検討し、調理実習を含むグループプログラムを実施しました。</p> <p>またその一方で、近年拡大傾向にある更生保護施設における支援役割について検討する中で、プログラムを実体化する場である施設や、そこで直接支援にあたる職員の状況について把握する必要があることが確認されました。そこで、今回は京都市内の白光荘を含む全国7箇所の女性専用更生保護施設を対象として、現地訪問調査（施設視察・施設長を対象としたインタビュー）と質問紙調査を行いました</p>			
<p>【研究活動の成果】</p> <p>○入所者を対象とする個別インタビューの結果を受けて、施設を退所した方を対象として調理実習を含むグループプログラム（ピアルム・カフェ）を実施しました</p> <p>○現地訪問調査と質問紙調査からは、各更生保護施設の運営や支援内容が多様であることや、財政面でもマンパワーの面でも厳しい状況に置かれていることが明らかになりました。</p> <p>○調査結果をまとめた調査研究報告書を作成しました。全国7箇所の女性専用更生保護施設の現状について、職員配置と施設での支援、利用者と施設での生活、地域社会とのかかわり、施設の運営の側面から分析、考察しました。今後、施設間での情報交換や実践事例検討等に活用されることも、期待されます</p>			
<p>【研究成果の還元】</p> <p>○ACTR 成果発表会「地域で支える女性出所者の再出発～薬物事犯者のケースを中心に～」 H31.1.31 更生保護法人 西本願寺白光荘、更生保護女性会会員 26名</p> <p>○「平成30年度 京都府立大学 地域貢献型特別研究（ACTR）矯正施設を出所した女性の円滑な地域生活導入に向けた更生保護施設の役割に関する調査研究報告書」を作成しました。府大図書館で閲覧いただけます</p> <p>○研究の内容に関連する講演（女性の犯罪・非行と地域におけるその立ち直り支援に関するもの）のご依頼にも応じます。</p>			
<p>【お問い合わせ先】 公共政策学部 山野研究室 准教授 山野 尚美 Tel: 075-703-5108 E-mail: n_yamano@kpu.ac.jp</p>			

参考（イメージ図、活動写真等）

序章 調査研究の目的と方法.....1

1. 調査研究の背景と目的.....1
2. 対象.....2
3. 方法.....2
4. 本報告書の構成内容.....3
5. 執筆担当.....3

1章 女性専用更生保護施設の現状.....4

- I. 施設の概要.....4
 - 1-1. 利用者の定員.....4
 - 1-2. 利用者の居室.....4
 - 1-3. 指定更生保護施設の指定.....5
 - 1-4. 業務処遇重点実施更生保護施設の指定.....5
- II. 施設利用者の状況.....6
 - 2-1. 年間新入所者数.....6
 - 2-2. 年間退所者数.....6
 - 2-3. 退所形態の分布.....6
 - 2-4. 年間収容率.....7
 - 2-5. 仮釈放者以外の受入状況.....7
 - 2-6. 利用者の年齢構成.....8
 - 2-7. 特に支援を必要とする利用者の状況.....8
 - 2-8. 依存症を含む精神疾患のある利用者の受診・受療および支援の状況.....9
- III. 職員に関する状況.....10
 - 3-1. 職員体制.....10
 - 3-2. 夜間の勤務態勢について.....13
 - 3-3. 職員の支援スキル向上のためのサポート.....15
- IV. 利用者の施設内での生活状況.....16
 - 4-1. 食事提供の形態（4-1-①朝食 4-1-②昼食 4-1-③夕食）.....16
 - 4-2. 入浴.....17
 - 4-3. 居室の空調（4-3-①冷房 4-3-②暖房）.....18
 - 4-4. 入所中のルール（4-4-①携帯電話の所持 4-4-②喫煙の可否 4-4-③施設独自のルール）.....19
 - 4-5. 利用者の自律を促すための活動.....20
 - 4-6. 余暇活動.....21
- V. 利用者に対する支援.....22
 - 5-1. 担当体制.....22
 - 5-2. 利用者を対象とする集団での活動的・教育的プログラム.....23
 - 5-3. 利用者を対象とする個別面談.....24
 - 5-4. 退所者への支援.....25
 - 5-5. 利用者家族への支援.....26
 - 5-6. 支援に関する困りごと.....27

- 5-7. 女性専用施設としての工夫・配慮.....27

VI. 地域とのつながり.....28

- 6-1. 近隣地域の機関・施設との連携の現状と今後.....28
- 6-2. 近隣地域とのつながりを深めるための取り組みの現状と今後.....29
- 6-3. 近隣地域に対する配慮.....30

VII. 施設の運営に関する事項.....31

- 7-1. より良い支援のために取り組むべき課題.....31
- 7-2. より良い支援のために必要としているもの.....31

2章 女性専用更生保護施設の現状と課題：7施設の調査から.....32

1. 更生保護事業の中の更生保護施設.....32
2. 7施設の調査結果から見える女性専用更生保護施設の現状.....33
 - 2-1. 女性専用更生保護施設の施設概要と職員体制に関する状況.....34
 - 2-2. 女性専用更生保護施設における支援に関して.....35
 - 2-3. 女性専用更生保護施設の利用者と生活に関する状況.....35
 - 2-4. 女性専用更生保護施設の運営と地域とのつながり.....35
3. より質の高い女性のための更生保護の充実に向けて.....36

3章 更生保護施設の現状と課題：更生保護施設にしかできない処遇に向けて.....39

1. 更生保護施設の意味.....39
2. 更生保護施設の歴史と理念.....39
3. 運営形態の変遷.....40
4. 拡大する更生保護施設役割.....41
5. 更生保護法人以外への更生保護事業の門戸開放.....42
6. 更生保護施設における処遇の専門性.....42
7. 期待される役割の質をどう担保するのか.....43
8. 更生保護施設にしかできない処遇.....43

終章.....46

謝辞.....46

資料.....47

